



第 45 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

テーマ：学びのサステイナブル化に向けた教育システムの現状と未来

<https://www.jsise.org/taikai/2020/>

- 開催日時： 2020年9月2日（水）～9月4日（金）
- 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会
- 場 所： オンライン開催

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、皆様に安全に大会に参加していただけることを最優先に考えて、全国大会をオンラインで開催することにいたしました。

一般セッション、インタラクティブセッションは以下の形式での実施を予定しております。

一般セッション：オンライン会議ツールを用いたリアルタイム・セッション

インタラクティブセッション：発表資料の事前アップロード（ポスター、音声入りスライド、動画等）

＋オンライン会議ツールやチャットツールを用いたリアルタイムな質疑応答セッション

実施方法の詳細につきましては、追って大会 Web サイト等で周知致します。

■ 大会日程

9月2日（水）	
9:00～11:50	プレカンファレンス
11:50～13:00	昼休み
13:00～13:10	オープニング
13:10～14:20	インタラクティブ（ポスター・デモ）セッション
14:40～17:45	一般・企画セッション
9月3日（木）	
9:00～12:05	一般・企画セッション
12:05～13:00	昼休み
13:00～14:20	各種表彰，特別講演
14:40～15:50	インタラクティブ（ポスター・デモ）セッション，学生研究特別セッション
16:10～17:35	一般・企画セッション
9月4日（金）	
9:00～12:05	一般・企画セッション
12:05～13:00	昼休み
13:00～15:00	大会企画シンポジウム
15:10～15:20	クロージング

(*) 大会日程は変更される可能性があります。

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,500円 学生会員：3,200円 非会員（学生以外）：10,800円 非会員（学生）：5,400円	オンライン開催のため、 当日申込はございません。 <u>必ず事前申込をお願い致します。</u>
論文掲載料：1,000円（論文一編につき）	

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

（申込期日がございますのでご注意ください）

プレカンファレンスの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会参加登録、および参加費の支払いは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ 特別講演（9月3日（木）13:20～14:20）

「学びのサステイナブル化に向けた文部科学省の取組について」

亀岡 雄（文部科学省 文部科学戦略官）

○ 大会企画シンポジウム（9月4日（金）13:00～15:00）

「コロナ後の大学教育 ～大学教育のブレンディッド化の展望～」

登壇者：

河本 達毅（文部科学省高等教育局専門教育課科学・技術教育係長）

埴 雅典（山梨大学大学院総合研究部工学域・教授）

三石 大（東北大学教育情報基盤センター 准教授）

村上 正行（大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部・教授）

司会・コーディネータ：

石井 正章（神田外語大学言語メディア教育研究センター・准教授）

小川 修史（兵庫教育大学学校教育研究科・准教授）

小尻 智子（関西大学システム理工学部・教授）

西端 律子（畿央大学教育学部・教授）

○ プレカンファレンス（9月2日（水）9:00～11:50）

1. 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー

・ ディスカッションベースの論文投稿ファシリテーション ・

2. 教育・学習支援システム研究における専門知識とは？【鼎談】

JSiSE 若手研究者科研費申請支援制度と科研費申請なんでも相談【チュートリアル】

3. SEL (Social and Emotional Learning) の高等教育への適応

○ 企画セッション（9月2日（水）14:40～17:05, 9月3日（木）9:00～12:05, 16:10～17:35,
9月4日（金）9:00～12:05）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（36件）

1. SEL(Social and Emotional Learning)の高等教育への適応（4件）

2. インダストリーエンゲイジメント&コラボレーション（3件）

3. 実世界指向の教育学習環境（7件）

4. Society5.0に向けたAI・数理・データサイエンスと人材育成支援に関わる教育システム (4件)
 5. 医療・看護・福祉領域におけるICT等活用教育 (7件)
 6. AI/ロボット/VR・ARを活用した学びにおける感情・情動面からの支援 (8件)
 7. 初等教育等におけるプログラミング教育 (3件)
- 学生研究特別セッション (インタラクティブ(ポスター・デモ)発表) (9件)
 - 一般セッション (インタラクティブ(ポスター・デモ)発表) (27件)
 - 一般セッション (口頭発表) (89件)
- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. スキル学習 (7件) 2. デバイス活用 (4件) 3. プラットフォーム活用／プラットフォーム開発 (4件) 4. ブレンディッド学習／アクティブラーニング (4件) 5. プログラミング教育 (4件) 6. 遠隔教育 (4件) 7. 学習環境デザイン (4件) 8. 学習者特性・行動分析 (4件) 9. 学習評価・アセスメント (4件) 10. 協調学習 (4件) | <ol style="list-style-type: none"> 11. 教科教育／語学学習 (3件) 12. 語学教育 (4件) 13. 高等教育 (4件) 14. 授業設計・インストラクショナルデザイン (7件) 15. 初等教育 (4件) 16. 情報リテラシー／特別支援教育 (3件) 17. 先進的学習支援 (11件) 18. 分析技術 (3件) 19. 防災教育／医療教育 (4件) 20. 連携教育 (3件) |
|---|---|

■ 講演論文集について

第37回大会より印刷を、第45回大会よりCD-ROMを廃止し、Webによる配布のみとしております。Web版の講演論文集は大会参加者のみに公開され、2021年3月1日(日)に一般公開されます。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
 一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会
 E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp



全国大会プレカンファレンス 反転が生み出す論文投稿のブレークスルー —ディスカッションベースの論文投稿ファシリテーション—

担当者： 学会誌編集委員会

開催日時： 2020年9月2日（水）大会1日目 9:00～11:50

オーガナイザ： 瀬田和久（大阪府大）、村上正行（大阪大）、松田憲幸（和歌山大）、後藤田中（香川大）、
田中孝治（金沢工業大）、近藤伸彦（東京都立大学）、山元翔（近畿大）

申込締め切り： 2020年8月7日（金）

論文の投稿や査読について、お悩みや不安、疑問はないでしょうか？

本学会の論文カテゴリは「一般論文」、「実践論文」、「ショートノート」、「実践速報」の4つです。たとえば、論文を投稿したいがカテゴリの違いが判然としない、実践論文が満たさなければならない基準って何だろう？、研究を進める上でのポイント・ヒントを知りたい、査読における考え方を整理したいなど、投稿や査読に関するあらゆるお悩み・不安について、編集委員と参加者が知恵を出し合う対話を通して論文投稿のブレークスルーを見出します。

学会誌編集委員会では2015年まで、全国大会プレカンファレンスとして、チュートリアル『編集担当委員が語る JSiSE 論文投稿入門』を実施し、資料および映像をホームページに掲載してきました。

論文投稿チュートリアル：<http://www.jsise.org/journal/tutorial.html>

- ・論文投稿から掲載までの流れ、投稿に際しての注意
- ・論文種別と採録基準 —現状と改訂の方向性—
- ・査読の観点と査読コメントに対する対応のノウハウ
- ・教育現場の取り組みを実践系論文にまとめるには

これまで、論文投稿に関わる相談会を、上記コンテンツを事前に閲覧・視聴してから、対面の相談・議論に臨む“反転 + ディスカッション”ベースで実施し、参加者からご好評をいただきました。本年度もセッション後半において、オンライン開催で継続します。投稿を予定しておられるなど、ご相談を希望される方（Advisee）の手順は下記の通りです。多数のご応募お待ちしております。

1. 【事前】 次の URL から応募ください（<https://forms.gle/VFcV5YJ8wkHUngh76>）
2. 【事前】 チュートリアルを閲覧
3. 【当日】 投稿予定の研究や執筆上の懸案を発表
※ zoom を用いたオンラインでの実施を予定しています。
4. 【事後】 論文投稿（可能であれば）
※ 希望者多数の場合は学会誌編集委員会で選定します。
※ 事前に発表スライドなどの資料の提出をお願いすることがあります。

問い合わせ： 後藤田中 gotoda@eng.kagawa-u.ac.jp



学会誌編集委員会より解説特集のお知らせ

担当者： 学会誌編集委員会

編集委員会では、10月発刊の学会誌（Vol. 38 No. 4）にて、「レジリエントな学びを支える実践的取り組み -新型コロナウイルスへのオンライン授業対応-」と題した7本の記事からなる解説特集を掲載予定です。

これに先だって8月上旬頃（予定）より学会 Web サイト（<https://www.jsise.org>）にて、草稿版を広く無償公開いたします。

充実した内容となっていますので是非ご覧下さい。



若手研究者向け科研費申請支援制度のご案内 およびコメンテータ募集

担当者： 人材育成委員会

教育システム情報学会では、次代を担う若手研究者の自立、研究活動の活性化を積極的に支援することを主旨として、2018年度より科研費申請支援制度を試行しています。

本学会の理事等を中心に、当該分野の科研費審査や獲得経験を有する複数のシニア研究者（匿名）が、提出された申請書に対して、主張点や論旨の明確化、焦点化など、審査員に上手に伝えアピールする視点から、採択に向けたコメントを書面で提供するものです。申請書評価の多様な見方に触れて頂くためにも、学会としてまとめることはせずコメンテータからのコメントをそのまま提供します。これらをご参考に申請者ご自身の判断の下で取捨選択しての申請書のブラッシュアップにお役立て頂く主旨のものです（学会およびコメント提供者は採択に関する責任を負うことはできませんので、予めご了承ください）。

支援対象種目は若手研究、基盤研究（C）（年齢制限あり）および研究活動スタート支援です。支援対象分野は以下の通りですが、JSiSE が学際的な領域を対象にしていることから、他の分野でもできるだけ柔軟にお受けしたいと考えていますので、下記問い合わせ先までお尋ねください。

- ・種目：若手研究、基盤研究(C)（本年度は2021年4月1日現在の年齢が40歳未満の方が対象）、
研究活動スタート支援
- ・分野：
 - ・「大区分A」「中区分9：教育学およびその関連分野」
 - ・09070 教育工学関連
 - ・09080 科学教育関連
 - ・「大区分J」「中区分62：応用情報学およびその関連分野」
 - ・62030 学習支援システム関連

申請者は学会員であることが必要です。

若手研究・基盤研究（C）申請支援の予定スケジュールは以下の通りです。ご所属機関により提出時期が異なることを踏まえ、例年同様提出期間に幅を持たせています。

- ・9月中頃：エントリー切（代表者氏名、タイトル、応募領域等の基本情報の提出）
- ・9月末頃～10月初旬頃：申請書提出切
【提出があり次第、コメンテータに申請書を送付します。】
- ・10月初旬～中旬頃：コメント送付
【各コメンテータから提出があり次第、コメントをお返します。】

申請ファイル：申請書の Word または PDF（予算明細などの詳細まで埋めていただく必要はありません

が、プレゼンテーションに関するコメントを提供する観点からは、ある程度、内容が固まっている、読み取れる段階でご提出いただくのが望ましいと思われまます。

学会及びコメンテータは申請書に記載された内容について守秘義務を負い、第三者に情報を漏らすことはありません。

また、制度改善のためのアンケートにお応え頂くことがございますので、ご協力をお願いいたします。若手研究者のみなさまの積極的なご活用を期待しております。

提出・お問い合わせ先：jsise-y-support@jsise.org

詳細については今後、ニュース・レター、jnews、学会 Web サイト、Facebook 等を通じて順次ご案内いたします。積極的なご活用を期待しています。

また、9月に開催される全国大会プレカンファレンス(2020年9月2日(水)9時～ オンライン開催)にて、「JSiSE 若手研究者科研費申請支援制度と科研費申請なんでも相談」と題したチュートリアル(*)も実施します。本チュートリアルは上記の支援制度と連動した企画ですが、内容は若手研究者に限らずどなたにもご参考にして頂けるものと思われまますので、ご興味のある方は参加をご検討ください。また事前の質問受付も予定しております。こちらについても学会 Web サイト等にて順次ご案内いたします。

* 教育・学習支援システム若手の会による「教育・学習支援システム研究における専門知識とは? (鼎談)」と JSiSE 人材育成委員会の合同企画です。

コメンテータ募集

上記支援制度では本会理事等が中心となりコメント提供にあたることにしていますが、本学会が学際領域を対象としていることから、広く一般の会員の方からもコメンテータを募集しております。上記の若手研究者支援の主旨をご理解頂きご協力頂けますと幸いです。お問い合わせ、お申し込みは人材育成委員会 (jsise-y-support@jsise.org) までお願いいたします。



Information and Technology in Education and Learning (ITEL) 論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

2002年から英文誌（The Journal of Information and Systems in Education）を発行してまいりましたが、4月1日より、日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL (Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>)を立ち上げ、論文募集をはじめました。

この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。ITEL は、JSiSE 英文誌と同様、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL の Vol.1 は、2021 年 3 月開始を予定しております。

革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただければ幸いです。

- 論文種別：一般論文 (Regular Paper, 基本 8 ページ)、実践論文 (Practice Paper, 基本 8 ページ)
システム開発論文 (Development Paper, 基本 8 ページ)
ショート論文 (Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで)
<これまでのショートノート(Short Note)と実践速報(Report on Practice)を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
<JSiSE 英文誌と同様、投稿後、7 か月までには、採録の可否を決定・通知する予定です>
- 投稿要件：
 - 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領 (Authors Instruction) 等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - 投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正 (Proofreading) を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - 査読者は 2 名 (Short Paper は 1 名) で、査読回数は 2 回となります (著者照会は 1 回のみ)。
 - 評価項目は、Originality (新規性)、Usefulness (有用性)、Reliability (信頼性)、Presentation (明瞭性) の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に、投稿論文の種別変更はありません。投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



第 3 回研究会講演募集

担当者： 小西 達裕（静岡大学）、安間 文彦（サイバー大学）、三好 康夫（高知大学）

■テーマ：遠隔教育／数理・データサイエンス教育と学習支援システム／一般

■開催日時：2020年9月27日(日)

■開催場所：オンライン開催（Zoomを使用）

■趣旨：

本年度第3回研究会は、「遠隔教育／数理・データサイエンス教育と学習支援システム／一般」のテーマで実施いたします。

新型コロナウイルス感染症への社会的対処として、サイバー空間の積極的な活用がなされています。本研究会では、転換が加速する Society5.0 時代に向けて「遠隔教育・数理・データサイエンス教育と学習支援システム」に関する発表を歓迎いたします。

「遠隔教育」に関して、まさに Society5.0 社会に向けた経験知が現在醸成されています。Society 5.0 では、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させるシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会が提唱されています。新型コロナウイルス感染症の影響下でのオンライン学習の実践は、フィジカル空間に主軸があった学習活動がサイバー空間にも広く展開されます。学習履歴のビッグデータ収集・蓄積・分析が加速することで、フィジカル空間での学びに対しても新しい価値創造の機運が高まっています。その新しい価値や課題について議論したいと思います。

「数理・データサイエンス教育と学習支援システム」に関して、そのような分析に携わる AI・数理・データサイエンスに関わる知識とスキルを身に着けた人材育成も急務であり、それに関わる学習支援システムも、新しい社会への転換に強く寄与するものです。開催延期となった東京五輪に向けたスポーツテック導入に基づく教育（トレーニング）、また自治体では、コロナ感染の対処も含めオープンデータを活用した災害・防犯教育のシビックテックも見られ、幅広い分野の教育にレジリエントな社会の実現に向けたデジタルトランスフォーメーション(DX)が期待されます。その可能性や課題、必要とされる学習支援システムについても議論したいと思います。こちらのテーマでは新規性あるシステム開発と既存の学習支援システムを活用した教育実践の両方を視野に含めつつ、数理・データサイエンス教育に関する最新の意欲的な取り組みについて議論したいと思います。

以上のように、今後の Society5.0 時代への転換を見据え、高等教育機関等における AI・数理・データサイエンス教育等に関わる研究に加え、リカレント教育も含めた、今後の Society5.0 に向けた教育発展に寄与するオンライン学習の実践の研究発表を募集します。また、先行的な取り組みとしての情報教育（IoTを含むプログラミング、カリキュラム設計等）、さらに、遠隔医療、農業、建設業も含め

た幅広い分野の教育において、先端技術（5G・ロボット・ドローン・ブロックチェーン等）の活用を見据えた人材育成の支援の取り組みに関する学習支援システムの発表研究も広く募集いたします。

その他、教育システムに関する幅広い分野からの発表も歓迎致します。高等教育だけでなく、中等教育、企業教育などの分野から、多くの方々の発表をお待ちしております。

※なお、本研究会は、特集論文研究会(2021年3月中旬開催予定)および2022年度発刊特集号論文募集の企画と連動するものです。

■発表申込締切：2020年8月6日(木)

■原稿提出締切：2020年8月26日(水)

■発表申込および原稿提出は、下記 URL よりお願いします。

<https://iap-jp.org/jsise/course3/login.php>

執筆要領などについては以下のページをご確認ください。

研究報告執筆要領：<https://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究報告見本：<https://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究報告ひな形：<https://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■参加申し込み：本研究会に参加するには、事前の申し込みが必要です。

申し込み方法については後日、本学会 Web サイトなどでお知らせいたします。

■参加費等：

研究会への参加は無料ですが、登壇者の方で研究報告の年間購読をされていない方には、当日分のオンライン研究報告集の購入(1,000円)をお願いしております。詳しくは以下のQ&Aを御覧ください。

<https://www.jsise.org/society/faq.html>

■お問い合わせ先：静岡大学 小西達裕（第3回研究会担当委員）

E-mail: konishi@inf.shizuoka.ac.jp



2020 年度研究会開催スケジュール

2020 年度の年間スケジュールは下記のとおりです。

詳細は、学会ウェブページ (<https://www.jsise.org/society/committee.html>) を御覧ください

第 3 回 9 月 27 日(日) 静岡大学 浜松キャンパス (静岡県浜松市)
数理・データサイエンス教育と学習支援システム／一般
申込み締切：8 月 6 日(木) 原稿締切：8 月 26 日(水)

第 4 回 11 月 14 日(土) 和歌山大学システム工学部 (和歌山県和歌山市)
スキルや経験に関わる学習支援法や支援環境／一般
申込み締切：9 月 24 日(木) 原稿締切：10 月 15 日(木)

第 5 回 2021 年 1 月上旬 (予定) 徳島大学 (予定)
実世界指向の教育学習環境／一般
申込み締切：未定 原稿締切：未定

第 6 回 2021 年 3 月中旬 (予定) 大阪教育大学 (予定)
一人 1 台時代の情報活用能力の育成／一般
申込み締切：未定 原稿締切：未定

特集 2021 年 3 月中旬 (予定) 大阪教育大学 (予定)
未定
申込み締切：未定 原稿締切：未定

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願い致します。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000円(定例研究会年6回、特集研究会1回、計7回分を含む)
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いいたします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望

会員番号 (お分かりであれば) :

お名前 :

所属 :

連絡先 e メールアドレス :

=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

関西支部より活動報告

関西支部 2020 年度支部総会 開催報告

担当者： 関西支部 支部長 安留 誠吾（大阪工業大学）

2020年度関西支部総会を令和2年5月24日（日）にWeb会議にて実施しました。関西支部会員 251名，出席者 16名，委任状提出 31名で総会は成立いたしました。

概要

審議事項

1. 2019 年度事業報告
2. 2019 年度会計報告
3. その他

報告事項

1. 2020 年度事業計画案
2. 2020 年度予算案
3. 支部運営委員
4. その他

※総会資料は、<http://www.jsise.org/~kansai/events.html#meeting> に掲載していますので詳細はこちらをご覧ください。

なお、例年であれば、同日に関西支部研究会を行っておりますが、新型コロナウイルスの影響を考慮し、支部研究会は中止としました。

北信越支部より活動報告

電子情報通信学会 信越支部大会における 教育システム情報学セッション開催のご案内

担当者： 北信越支部 支部長 香山 瑞恵（信州大学）

北信越支部では、9月26日（土）・27日（日）にオンライン開催される電子情報通信学会 信越支部大会において、教育システム情報学に関するセッションを主催いたします。北信越地区に限らず、同分野に関して多くの研究者・学生が集まる機会として、ご活用いただきますようお願いいたします。

講演申込・原稿投稿などに関する日程は、以下のとおりです。

8月3日（月）17時：講演申込および原稿投稿締切

9月11日（金）17時：参加申込締切

詳しくは電子情報通信学会 信越支部のWebページをご参照ください。

電子情報通信学会 信越支部：<https://www.ieice.org/shinetsu/>



Twitter アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 (secretariat@jsise.org) へお願いします。また、Facebook アカウントとの連携も行っており、Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので、ぜひご活用 (フォロー) ください。

<https://twitter.com/JsisePr>

2020年8月3日現在、フォロワー数 232 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・論文・発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

2020年8月3日現在、いいね 401 件、437 人フォロー





他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

- ・協賛「2020年度工学教育研究講演会」
日時：2020年9月9日（水）～11日（金）
会場：オンライン開催
- ・協賛「第22回日本感性工学会大会」
日時：2020年9月9日（水）午後～11日（金）
会場：オンライン開催
- ・協賛「eラーニングアワード2020フォーラム」
日時：2020年11月11日（水）～2020年11月13日（金）
会場：オンライン開催
- ・後援「全国高等専門学校第31回プログラミングコンテスト」
日時：2020年10月10日（土）～11日（日）
会場：現地開催を中止し、課題部門と自由部門のみオンラインで実施
（競技部門については中止）
- ・後援名義使用「日本情報オリンピック」
日時：2020年6月19日（金）～2021年3月24日（水）



国際会議のご案内

- 2020年12月開催

IEEE TALE2020: IEEE International Conference on Teaching, Assessment,
and Learning for Engineering 2020

開催期間 : December 8 - December 11, 2020

開催地 : オンライン

URL: <http://tale2020.org/>

Conference Theme: Embarking On A New Era Of Learning With Transformative
Technologies

※JSiSE 会員には会議参加費の割引があります。



会費納入のお願い

会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、2019 年度会費未納の方はご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。なお、2020 年度会費納入のお願いをメールでお送りしましたので、併せてお願いいたします。

「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号： 00180-6-709632

加入者名： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名： ゆうちょ銀行（金融機関コード： 9900）

店名： ○一九 店（ゼロイチキユウ店） 預金種別： 当座 口座番号： 0709632

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード： 0005）

店名： 上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 0142708

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード： 0001）

店名： 茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 1399483

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。(2020年5月23日～2020年7月21日)

会員名	会員種別	会員名	会員種別
原田 義富	正会員	若原 拓己	正会員 (購読)
大久保 友晶	学生会員	高村 浩輝	学生会員
王 丹萱	学生会員	大江 孝明	学生会員
宮崎 貴大	学生会員	野村 達八	正会員
栗山 俊之	正会員 (購読)	竹内 俊彦	正会員 (購読)
山下 由美子	正会員	村田 知也	正会員
上田 秀治	正会員		

(計 13 名)

「学生会員特例」新設のご案内

2020年度より「学生会員特例」を新設することとなりました。
これは、研究生や博士後期課程単位取得退学者など、常勤の職がなく、
指導教員より継続的に指導を受けている会員を対象に、
通算3年を限度として会員種別を「学生会員」とする特例です。

(*)学生会員：大学院，大学，短期大学，高等専門学校，
およびこれらに準ずる学校に在学中の方。
会費は年額4000円／研究報告年間購読付きで8000円。

本特例が適用されるのは申請した年度のみです。
そのため、年度ごとに申請書を提出し理事会の承認を得る必要があります。
申請に際しては、指導教員の氏名、所属および連絡先を記入していただきます。
ただし指導教員に関しましては、本学会の会員・非会員を問いません。

本特例の適用を希望する会員の方は、学会 Web サイト「入会のご案内」ページにある
「関連書類」から「学生会員特例の申請書」をダウンロードしていただき、
必要事項をご記入の上、事務局（secretariat@jsise.org）までお送りください。

「学生会員特例の申請書」のリンク
<https://www.jsise.org/admission/index.html>

なお、非会員の方でも、上記の条件に合致する方は、
本特例を適用し新規の学生会員として入会することができます。
その場合は、「オンライン入会フォーム（正会員・学生会員用）」の通信欄に
必要事項を記入することで、本特例の申請を行えます。

ご指導されている方などで対象者がおられましたら、
本特例の件をお伝えの上、ぜひ本学会への入会を
ご推薦くださいますよう、お願いいたします。

上記「学生会員特例」に関しまして、ご不明な点等ございましたら、事務局までご連絡ください。